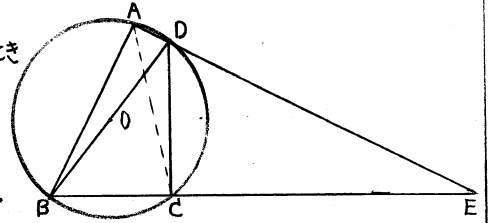


【類】円(中心O)に内接する四角形ABCDのBDは直径とし、

半直線ADと半直線BCの交点をEとする。BC=CD=2, CE=xのとき  
次の問いに答えよ。(1)△ABCの面積が最大となる点Aの位置  
点A<sub>0</sub>を作図せよ。(2)(1)のときの△A<sub>0</sub>BCの面積S<sub>0</sub>とそのときの  
xの長さを求めよ。(3)点Eが存在するためのxの範囲を求めよ。  
(4)△ABCの面積S(x)をxの式で表せ。(ここまでは、中3です)



(高)(5)関数 $y=S(x)$ を利用して、 $S(x)$ の最大値 $S_0$ 。(2)の結果と同じ)を求めよ。 $(S(x)=R$ とおけ)

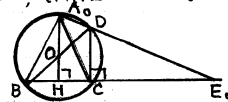
(考)統一模試に、BC=6, CE=4, CD=3, ときの△ABCの面積を求めよ、というのがありました、この設問は(1),(2)の誘導形式になっていましたが(1),(2)は必要なかったですね。(5)は高校です。

(解)(1)底辺BCからの高さが最大となる点Aの位置が点A<sub>0</sub>、したがって、BCに垂直な円の中心Oを通る直線と円との交点をA<sub>0</sub>とすればよい。(作図省略)

(2) BC=CD=2, ∠BCD=90°だから、直角二等辺三角形BCD、直径BD=2√2, 半径√2, 直線A<sub>0</sub>OとBCの交点をHとすれば、A<sub>0</sub>O=√2(半径), OHは、直角二等辺三角形OHCよりOH=CH=1(=BC× $\frac{1}{2}$ ) ∴ A<sub>0</sub>H=1+√2  
∴ △A<sub>0</sub>BC = S<sub>0</sub> = BC × A<sub>0</sub>H ×  $\frac{1}{2}$  = 2 × (1+√2) ×  $\frac{1}{2}$  = 1+√2

△A<sub>0</sub>HEの△DCEより A<sub>0</sub>H:DC=HE:CE, 1+√2:2=1+x:x, (1+√2)x=2(1+x)=2+2x

$$(1+\sqrt{2}-2)x=2, \quad x=\frac{2}{\sqrt{2}-1}=2(\sqrt{2}+1)$$



(3) AD×BC ので点Aは限りなく点Dに近付き、点Dのときの点Dにおける接線と半直線BCとの交点をE'とすれば、直角二等辺三角形DBE'となり、BC=CE'=2 から、x>2

(4) 直角三角形ABEの直角三角形CDE, 相似比 BE:DE である。三平方の定理より DE=√(x<sup>2</sup>+4) であるから  
面積比 BE<sup>2</sup>:DE<sup>2</sup>=(x+2)<sup>2</sup>:x<sup>2</sup>+4 ∴ 直角三角形ABE=直角三角形CDE ×  $\frac{BE^2}{DE^2} = \frac{2x}{2} \times \frac{(x+2)^2}{x^2+4} = \frac{x(x+2)^2}{x^2+4}$

△ABC:△ACE=BC:CE=2:x, △ABC:△ABE=BC:BE=2:x+2 なので

$$\triangle ABC = \triangle ABE \times \frac{BC}{BE} = \frac{x(x+2)^2}{x^2+4} \times \frac{2}{x+2} = \frac{2x(x+2)}{x^2+4} = S(x) \quad (x>2)$$

(5)  $\frac{2x(x+2)}{x^2+4} = R \quad (x>2)$  とおき、 $R(x^2+4)=2x(x+2)=2x^2+4x$ ,  $(R-2)x^2-4x+4R=0 \dots \textcircled{1}$

R=2のとき -4x+8=0, x=2 であるが x>2 なので R≠2, したがって 2次式①が x>2 の範囲に少なくとも

1つ実数解をもつ。実数Rの範囲を求める。①の判別式  $\frac{D}{4} \geq 0$  が必要であるから、 $4-4R(R-2) \geq 0$ ,

$1-R(R-2) \geq 0$ ,  $R^2-2R-1 \leq 0$ ,  $1-\sqrt{2} \leq R \leq 1+\sqrt{2}$  である。R=1+√2のとき①が x>2 の範囲に解をもてば、

最大値1+√2をとることが必要十分となる。①に R=1+√2を入れると  $(\sqrt{2}-1)x^2-4x+4(1+\sqrt{2})=0$

$x=\frac{2}{\sqrt{2}-1}=2(\sqrt{2}+1)>2$  であるから、確かに①は、x=2(√2+1)のとき最大値S<sub>0</sub>=1+√2をとる。

(補) ①を R-2(≠0)でわって、左辺を  $y=x^2-\frac{4}{R-2}x+\frac{4R}{R-2}$  において、グラフを考えてもできます。

$S(x)=\frac{2x(x+2)}{x^2+4}=2+\frac{4(x-2)}{x^2+4} \quad (x>2)$  を微分すると、数Ⅲ理系微積となります。